

北っ子 敷島北小学校だより

最終号

令和8年3月25日

文責 学校長 増坪広夫

ご支援とご協力ありがとうございました

1月は「いく」2月は「にげる」3月は「さる」といわれるように、長いようで短かった3学期も無事最後日を迎えることができました。3月19日(火)には39名の卒業生が敷島北小学校を巣立ち、在校生も4月から一つ上の学年に進級することになります。本日、子どもたちに修了書を手渡しましたが、この1年を振り返り、自分が「何ができるようになったのか」「何が足りなかったのか」などについて考え、自分の成長に自信を持つとともに、次の学年に向けてしっかりと準備をしてほしいと思っています。

これまで子どもたちの成長に大きく関わった保護者の皆様や指導・支援に関わってくださった多くの方々に感謝申し上げます。



続けた人にしか見えない景色がある

卒業生には、毎年、こんな話を伝えています。一見、つまらなそうなことでも、やり続けることで、将来の大きなことにつながっていくことがあります。「経験は力なり」という言葉が思い出されます。

日本航空に、飛行機のジェットエンジンの「鋏(びょう)」を打つ世界的な技術者がいるそうです。この人はパイロットになりたくて日本航空に入りました。

ところが、適性検査の結果、整備のほうにまわされてしまいました。

大学の工学部を出ていることもあったからでしょうか、最初に与えられた仕事は何とネジを磨くことでした。

工学部出身の若者が三人、くる日もくる日も雑巾でバケツ一杯のネジをきれいに磨くのです。

そのうち二人は「こんな仕事をするために、大学の工学部にいったのではない」と怒って日本航空をやめてしまいました。

残った一人は、二年間ネジ磨きをさせられました。

なぜ、こんな単調な仕事が二年間も続けられたのでしょうか。

それは、毎日毎日、「どうやったらうまく磨けるか」と工夫しながらやったからです。

単調な仕事の中に「工夫」というものを入れ、仕事を楽しいものに変えたのです。

工夫すれば、毎日同じネジ磨きも新しい仕事に変わります。工夫には限りがないからです。

この人は、次にリベットで床に穴をあける仕事を与えられました。

この仕事は少しでも穴が曲がってはいけないのです。ここでも工夫に工夫を重ねて、まっすぐに床に穴をあける技術を習得しました。

そして、今度はジェットエンジンのまわりについている無数の鋏を打ち込む仕事を与えられました。

これまで工夫して身につけてきた技術が生きて、まっすぐに穴をあけ、まっすぐに鋏を打ち込むことができました。

そして、気がついたときには、「鋏打ちの世界的技術者」になっていたそうです。

「慣れ・だれ(弛み)・崩れ・去れ」ライオンキングから学ぶ

先日、私が担任をしていたときの教え子が校長室を訪れ昔話に花が咲きました。その中でも修学旅行で「ライオンキング」を見て感動したことで盛り上がりました。当時から高価だった観劇を劇団四季と交渉してお手頃プランでミュージカルを楽しめただけでなく、劇場のバックヤードや稽古場も見学することができ、忘れられない貴重な体験をすることができました。



稽古場を見学したとき、団員の方から、たくさんお話をしていただいたのですが、その中でとても心に残ったのが「慣れ・だれ・崩れ・去れ」という言葉でした。この言葉は劇団四季における最も有名な戒めの言葉だそうです。同じことの繰り返しに慣れてしまうと気持ちがだれて演技が崩れてしまうそうです。それをなくすため稽古でも主役をそれぞれ数人の俳優が同じ密度で稽古をしていました。劇団員のあいだでもたえず切磋琢磨させるため、本番の直前まで誰が主役として舞台を踏めるかはわからず、演技が悪いとすぐ降板となってしまうので練習でも気が抜けないそうです。そんな努力の数々が、あの感動を生むのでしょ。私自身も戒められる言葉でした。ちなみに崩れてしまったら劇団を「去れ」だそうです。

1 慣れ (なれ)

- ・ 同じ作業や環境に慣れ親しみ、緊張感がなくなる状態
- ・ 「慣れ」は作業のスピードを上げるが、同時に新鮮な感覚や丁寧さを失う
- ・ 舞台が1000回目でも観客にとっては「初めての1回」であることを忘れてはならない
- ・ 「初めてやった時の気持ち」や「丁寧さ」を振り返ることが大切

2 だれ (弛み)

- ・ 「慣れ」からはじまり、精神的な弛緩や油断が生じること
- ・ 慢心により、一つ一つの所作や、決められたルールを軽視し始める段階
- ・ 劇団四季では「一音落とすものは、去れ」というほど、小さなミスや油断をしない
- ・ 「自分は大丈夫」という慢心を捨て、日々自分自身の仕事の質と向き合う。

3 崩れ (くずれ)

- ・ 「だれ」により技術的・精神的に本来のパフォーマンスが維持できず品質が崩壊すること
- ・ 最終的にクオリティの低下を招き「観客に感動を与えられない」「事故に繋がる」
- ・ どんなに小さな「だれ」も放置せず、すぐに行動やマインドを修正する。

4 去れ (され)

- ・ 「慣れ・だれ・崩れ」が起きたなら、その舞台(組織)から去るべき
- ・ 自らの責任で高い品質を維持できない者は、その場に留まる資格がない
- ・ 常に高いプロ意識を持ち、周囲に妥協や崩壊を伝染させない

3年間ありがとうございました

私事ですが、今年度をもって校長の役職定年となりました。敷島北小学校には3年間大変お世話になりました。校長職なんて子供から見たらずいぶん立派そうに見えるかもしれませんが「人」としてはまだまだ未熟なことばかりで生涯修行中の身です。たまたま「教育に携わる仕事」を通してこの「人を磨く」という修行をしています。子供たちには学校という環境で多くを学び、多くの人と出会い、幸せになるための良い体験を積み重ねてほしいと思っています。心に残る別れ、そして新しい出会いが子供たちにとって良いものとなることを願っています。ご愛読ありがとうございました。(校長 増坪広夫)